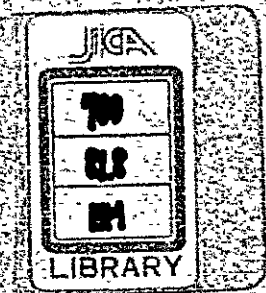


昭和46年度

# 移住地農家經濟調查報告

昭和48年12月

海外移住事業団



国際協力事業団	
受入 月日 '84.9.13	700
	81.8
登録No. 14797	EM

## 利用者のために

### I. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

移住地農家経済の実態並びに推移を定期的・継続的に調査分析し現地においては、個々の農家及び移住地の営農指導上並びに諸施策効果の測定などの基礎資料として、本部においては、各移住地の比較検討、総合的な移住地経営方針の樹立のための基礎資料並びに移住希望者の啓発資料とする。

#### (2) 調査対象

戦後移住の主要な集団移住地を調査地区とし、それぞれの調査地区に居住する邦人農家を調査対象とした。

※「農家」とは農業経営を行なっていて

ア、その経営耕地面積が0.5ha以上ある世帯

イ、または、アに該当しないもののうち、高度な農業経営を行なっている世帯で、年間自家生産農産物の総販売収入が5万円相当額を超える世帯をいう。

#### (3) 調査方法

海外移住事業団の現地営農指導関係職員が対象農家を戸別訪問し、聴取調査を行なった。

調査対象農家数および対象農家の抽出方法は原則として、調査地区の農家戸数により、下記の抽出基準によって調査対象農家数を決定した。なお、当事業団の直営移住地準直営移住地については、可能な限り全戸調査の方向で調査した。標本抽出は単純無作為抽出方法をとっているが、種々の現地事情に鑑み調査対象農家数及び対象農家の決定は、現地調査員の適切な裁量にまかせた。

調査対象農家抽出基準

移住地農家戸数	調査戸数
30戸以上	全戸
31～50戸	入植農家戸数 $\frac{3}{4}$ 戸以上
51～150戸	“ $\frac{1}{2}$ “
150戸以上	“ $\frac{1}{3}$ “

JICA LIBRARY



1053320[6]

## (4) 調査戸数及び調査対象期間

国名	移住地名	農家戸数	調査戸数	調査対象期間
ブ	トメ・アスー	367	20	昭和46年1月~12月
	第2トメ・アスー	100	74	〃
	モンテ・アレグレ	18	14	〃
	アカラ	37	31	〃
	マカバ近郊	18	12	〃
	エフィゼニオ・サーレス	54	34	〃
	トレゼ・デ・セテンプロ	26	18	〃
	ベラピスタ	38	31	〃
	マラニオン州	22	22	〃
	タイアーノ	6	2	〃
ラ	キナリー	3	2	〃
	グアマ	40	34	〃
	ベレーン近郊	386	21	〃
	ピウン	7	7	昭和45年8月~46年7月
ジ	ピオ12世	5	5	〃
	リオ・ボニート	16	14	〃
	カーボ	8	6	〃
	レシーフニ近郊	12	12	〃
	クビチエノク	59	52	〃
	イツベラ	15	7	〃
	ウナ	30	23	〃
ル	ロマント・ジュニナル	11	10	〃
	グァタバラ	113	111	昭和46年1月~12月
	バルゼア・アレグレ	32	29	〃
	オウリーニヨス	18	18	〃
	ビニヤール	38	32	〃
	ジヤカレイ	36	24	〃
	日光	31	28	〃
	フンシヤール	43	42	〃
小計	1,589	735		

国名	移住地名	農家戸数	調査戸数	調査対象期間
パラグアイ	アルト・パラナ	291	225	昭和45年8月~46年7月
	フラム	220	215	〃
	チャベス	72	70	〃
	イグアス	136	106	〃
	アマンバイ	101	71	〃
小計		820	687	
アンチゼン	ガルアッペー	30	26	昭和45年9月~46年8月
	アンデス	22	22	〃
小計		52	48	
ポリビア	サンフアン	221	176	昭和45年9月~46年8月
	沖繩第1	167	144	〃
	沖繩第2	117	96	〃
	沖繩第3	56	53	〃
小計		561	469	
ドミニカ	ダハボン	13	12	昭和46年1月~12月
	コンスタンサ	15	13	〃
小計		28	25	
合計		3,050	1,964	

(注) 農家戸数とは本調査の対象となりうる農家数であり入植戸数と一致することは必ずしも言えない。

## II. 調査結果の表示方法並びに調査項目別説明

### 1. 昭和46年度移住地農家経済の総括

#### 1) 農家経営収支

- 農業所得 = 農業粗収入 - (農業経営費 + 借入金利息)
- 農外所得 = 農外収入 - 農外支出
- 農家所得 = 農業所得 + 農外所得
- 農家経済余剰 = 農家所得 - (家計費 + 租税公課諸負担)

#### 2) 分析指標

- 農業所得率(%) =  $\frac{\text{農業所得}}{\text{農業粗収入}} \times 100$
- 農業依存度(%) =  $\frac{\text{農業所得}}{\text{農家所得}} \times 100$
- 農業粗収入現金率(%) =  $\frac{\text{現金農業粗収入}}{\text{農業粗収入}} \times 100$
- 農業所得による家計費充足率(%) =  $\frac{\text{農業所得}}{\text{家計費}} \times 100$
- 家計支出現金率(%) =  $\frac{\text{現金家計費}}{\text{家計費}} \times 100$
- 家族労働1人当り農業所得(千円) =  $\frac{\text{農業所得}}{\text{農業換算労働人数}}$

#### 3) 農家財産

- 固定資産 = 土地 + 建物, 施設 + 農機具 + 動物 + 植物
- 流動・流動資産 = 流動資産 (未処分農産物在庫価額 + 農業生産資材在庫価額) + 流通資産  
(現金預貯金 + 売掛未収金)
- 資産合計 = 固定資産 + 流動, 流動資産
- 負債 = 借入金残高 + 土地代残高 + 未払経費期末残高
- 資産 = 負債 + 純財産

### 2. 年次別農業所得の推移状況

年次別農業所得の推移状況を昭和41年度から46年度までの6カ年につき移住地別に比較表示した。

なお、年度または地区により現金農業所得しか把握しえなかったところもある。

3. 主たる農畜産物

移住地別に売上金額の多い順に農畜産物名を表示し、併せてそれらの売上額が農業現金粗収入に占める割合を示した。

4. 主たる農業経営費

移住地別に農業経営費のうち、大きな費目を表示し、併せてそれらが農業経営費に占める割合を示した。

III. 邦貨換算レート

1) 本報告書は全て次表に従って換算した。

国名	貨幣	邦貨換算レート
ブラジル	Cr\$ (クルセイロ)	1Cr\$ = 67.5 円
パラグアイ	G (グアラニー)	1G = 2.90 円
アルゼンチン	P (ペソ)	1P = 76.6 円
ポリビア	b\$ (ペソ)	1b\$ = 30.0 円
ドミニカ	RD\$ (ペソ)	1RD\$ = 360 円

2) 換算誤差

- ① 本報告書の統計数値は集計の最終段階において邦貨換算し、計上単位以下を4捨5入したため内訳個々の合計と、表示されている合計とは若干異なる場合がある。
- ② パーセントは小数以下四捨五入したため内訳個々の合計が100%にならない場合がある。

IV. 統計表に使用した符号

- (△)..... 負数または減
- (-)..... 調査したが全然該当のないもの

- ( 0 )..... 計上単位に満たないもの
- ( ... )..... 調査を欠くものあるいは不明のもの

#### V. 調査設計の改訂と統計値の接続

本報告は昭和43年度に調査設計の改訂がなされているので、改訂前の統計値との接続が明確でない。また本年度の調査において調査戸数の急増した移住地もある。したがって、項目別の利用にあたっては十分注意されたい。

#### VI. 統計数値の信頼度

この報告書に表示した一戸当りの平均値は、調査対象たる標本農家全体の平均値であって、項目によっては標本農家全部に現出するものもあるが、ごく少数の標本農家のみしか該当しない項目もある。

1戸当り平均値の信頼度は母集団における当該項目の分散の大小と標本中の出現率によって左右される。すなわち、標本農家数が一定であるから、出現率が同一であれば母集団における分散の大きい項目程信頼度が低く、母集団における分散が同一項目では出現率が低いほど、その信頼度が低くなる。したがって、項目別の利用にあたってはこれらの点を十分注意されたい。

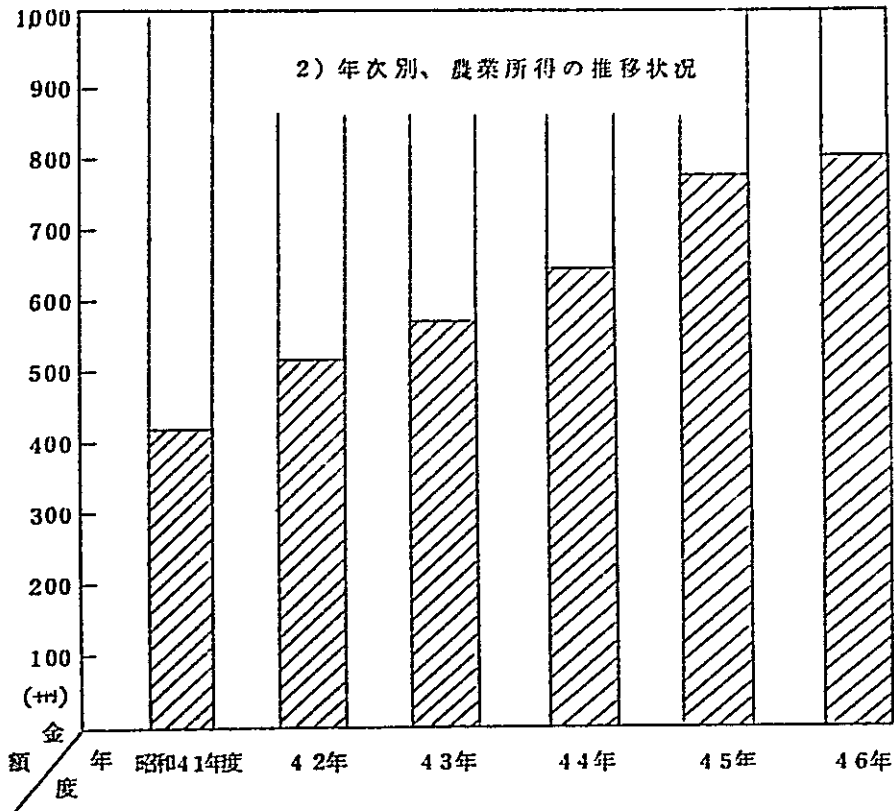


## 全調査農家の平均農家経済

### 1) 昭和46年度の農家経済

(農家一戸当り平均)

項目	金額	前年対比
農家所得	934 (十)	105 (%)
農業所得	797	103
農業租収入	2,200	111
農業経営費	1,363	117
借入金利息	40	114
農外所得	137	119
租税公課	15	} 111
家計費	488	
農家経済余剰	431	99



1 農家経済の総括

(1) 農家経営収支

国	移住地	農業粗収入	農家経営費	借入金利息	農業所得	農外所得
プ	トメ・アスー	3,740	2,382	99	1,260	167
	第2トメ・アスー	2,235	1,552	138	545	78
	モンテ・アレグラ	1,977	1,054	58	865	176
	マカバ近郊	3,736	2,327	152	1,257	223
	エフゼニオ・サーレス	5,166	3,991	129	1,046	62
	トレゼ・デ・セテンプロ	5,441	3,229	44	2,168	155
	ベラピスタ	8,049	5,123	52	2,873	276
	マラニオン州	5,096	3,124	7	1,965	99
	タイアノー	3,827	2,514	20	1,293	85
	キナリ	3,159	967	—	2,192	68
	グアーマ	2,396	903	8	1,485	68
	ベレーン近郊	3,531	1,757	19	1,755	34
	ビウン	2,867	2,033	14	820	40
	ビオ12世	847	441	26	380	272
	ラ	リカオ・ボニー	3,244	2,308	64	872
レフエ近郊		3,310	2,121	50	1,138	22
クビチエック		711	555	17	139	101
イツベラ		5,082	3,494	105	1,483	121
ウナ		1,766	1,165	62	539	261
ル	イッベラ	2,140	999	23	1,118	390
	ロマント・ジュニオール	931	573	31	326	490
	グアタバラ	1,804	1,226	45	533	60
	バルゼア・アレグレ	3,771	2,857	—	915	51
	オウリーニヨス	8,091	6,589	103	1,398	140
	ビニヤール	3,309	2,877	171	261	△ 2
	ジヤカレイ	2,100	1,261	57	782	27
	日光	6,579	5,580	157	841	171
	フンシャー	4,171	1,649	128	2,394	33
		3,945	3,213	53	680	67
ブラグアイ	アルト・バラナム	1,521	763	29	728	113
	フラム	1,531	787	37	708	121
	チャベス	1,208	610	28	570	125
	アマンバイ	1,735	1,228	27	480	221
アンチゼン	ガルアッベ	1,809	1,143	33	632	171
	アンデス	815	429	—	386	276
ゴリビア	サン・フアン	1,110	850	17	244	193
	沖繩第1	1,638	834	9	795	146
	沖繩第2	891	426	4	461	140
ドニミカ	沖繩第3	931	405	3	523	170
	ダハボン	650	394	1	255	106
ミカ	ダハボン	2,780	2,039	22	719	562
	コンスタンサ	3,135	2,562	35	538	125

(農家1戸当り平均、単位：千円)

農家所得	租税公課	家計費	農家経済余剰
1,426	42	793	591
623	46	666	△ 90※
1,041	6	649	386
1,480	42	855	584
1,107	64	788	255
2,324	52	771	1,501
3,149	102	1,809	1,238
2,064	3	911	1,149
1,378	9	507	861
2,260	10	783	1,467
1,553	68	1,451	.34
1,790	0	578	1,211
860	2	562	296
652	0	484	168
923	0	549	374
1,160	0	482	677
240	0	413	△ 173※
1,603	0	619	985
800	0	640	159
1,509	0	711	798
817	445		372
594	368		225
966	2	472	492
1,538	11	896	630
260	4	729	△ 473※
809	4	386	420
1,012	17	635	360
2,427	16	616	1,795
747	3	485	259
840	9	446	386
829	12	408	409
694	6	381	308
701	7	393	300
802	13	431	358
662	33	421	208
437	38	296	103
941	27	429	485
601	9	339	253
693	5	207	481
362	1	264	96
1,281	46	647	588
663	32	709	△ 77※

## 注※第2トメ・アスー

基幹作物であるコノロウの販売高は前年並(現地貨では10%増)であるが、資材や労賃が上昇、生活水準の向上による家計費の増(実質35%増)そして新植のための支出も多く、経済余剰はマイナスとなった。

## カ - ボ

昭和45、46年と2年続きの集中豪雨のため、畑作物が大きな打撃を受け、経営内容は苦しい。目下、緊急融資により経営の立直し中である。

## オウリーニヨス

雹害により大打撃を受けたため経営内容は悪化した。しかし現在立ち直りつつある。

## コンスタンサ

移住地の主幹作物であるニンニクの市況が、極めて悪化、(通常の半値以下)した。生産者の不売運動、輸出等、策を講じたものの、いずれも打撃策とはならず、大きな打撃をうけた。

## (2) 分析諸指標

国	移住地名	農所得率 %	農依存度 %	農租収金率 %	家計充 足率 %	家支現 金率 %	計出率 %	家族労働 1人当り 所得 円
プ ラ ジ ル	トメ・アスー	34	88	101	159	93	434	
	第2トメアスー	24	87	101	82	91	176	
	モンテ・アレグラ	44	83	72	133	80	188	
	アカラ	34	85	107	147	95	359	
	マカバ近郊	20	94	97	133	82	337	
	エフゼニオ・サーレス	40	93	96	281	81	602	
	トレゼ・デ・セテンプロ	36	91	96	159	84	737	
	ベラピス	39	95	93	216	76	578	
	マラニオン州	34	94	98	255	93	417	
	タイアーノ	69	97	92	280	77	466	
	キナリー	62	96	76	102	61	286	
	グアマ	49	98	87	303	99	566	
	ベレーン近郊	29	95	98	146	91	293	
	ビウソン	45	58	94	79	92	271	
	ビオ12世	27	94	96	159	78	396	
	リオ・ボニート	34	98	95	236	82	495	
	カシーフエ近郊	20	58	86	34	83	77	
	レシフエ近郊	29	93	98	240	---	494	
	クビチエック	31	67	95	84	87	234	
	イノベラ	52	74	76	157	95	559	
ウナ	35	40	87	73	94	171		
ロマントジュニオール	30	90	88	145	86	197		
グアタバ	24	95	97	193	85	352		
バルゼア・アレグレ	17	91	99	156	90	466		
オウリーニョス	8	100	98	36	90	74		
ビニヤール	37	97	98	203	88	279		
ジャカレイ	13	83	98	132	92	221		
日光	57	99	99	389	92	584		
フンシヤール	17	91	97	140	96	234		
バラ グ アイ	アルト・バラナム	48	87	85	163	86	251	
	アラ	46	85	92	174	86	262	
	チャベス	47	82	96	150	91	259	
	イグア	28	68	90	122	87	400	
アマンバイ	35	79	88	147	90	243		
アン チ ゼン	ガルアノベ	47	58	---	92	---	161	
	アンデス	22	56	91	82	100	136	
ポリ ビア	サン・フアン	49	84	90	185	78	274	
	沖繩第1	52	77	70	136	82	132	
	沖繩第2	56	75	56	253	53	201	
沖繩第3	39	70	57	97	80	65		
ドニ カ	ダハボン	26	56	97	111	98	423	
	コンスタンサ	17	81	98	76	94	269	

(2) 農家財産の総括

(単位：千円)

園名	移住地名	資産の部										負債の部				純財産	合計	
		固定資産					流動資産					借入金残	土地代残高	未払長期残高	合計			
		土地	建物施設	農具	動物	植物	小計	現金預貯金	流動・流掛	その他	小計							
																		金等
金																		
ア	トメ・アス	625	491	1,200	56	3,507	5,878	545	-	1,013	1,558	7,436	1,323	-	56	1,378	6,058	7,436
	第2トメアス	373	439	699	15	2,142	3,668	249	-	369	617	4,286	1,338	107	25	1,470	2,815	4,286
	モンテ・アレグレ	1,157	277	774	1,127	1,153	1,789	199	-	879	1,078	5,867	718	10	138	866	5,001	5,867
	マカバ近郊	1,085	575	1,150	18	3,781	7,298	187	-	707	894	8,102	1,220	-	11	1,230	6,872	8,102
	エフゼニサ・サレス	100	1,005	839	761	124	3,139	50	-	354	404	3,533	816	-	-	816	2,717	3,533
	トレゼ・ヂ・セチンプロ	708	787	554	685	994	3,729	420	-	367	787	4,516	849	22	112	983	3,532	4,516
	ベラビスタ	550	1,752	1,040	857	357	4,556	376	-	1,357	1,733	6,289	754	-	129	883	5,406	6,289
	マラニオン州	402	629	340	836	780	2,987	960	-	368	1,328	4,315	783	83	170	1,036	3,279	4,315
	タイア	327	134	477	367	13	1,318	77	-	192	268	1,587	415	-	16	431	1,155	1,587
	ヤナリ	57	750	-	-	85	901	371	-	61	435	1,336	96	25	-	122	1,215	1,336
ジ	グア	219	107	203	29	76	634	169	-	182	351	985	57	-	-	57	928	985
	ペレニ近郊	367	124	872	63	2,252	3,678	129	-	697	826	4,505	888	-	-	888	3,617	4,505
	ビウ	256	310	385	299	1,058	2,308	3	-	222	225	2,534	426	-	-	426	2,108	2,534
	ビオ12世	---	---	---	---	---	902	---	---	---	316	1,218	346	-	10	384	834	1,218
ル	リオ・ボニート	---	---	---	---	---	1,862	---	---	---	339	2,202	586	-	-	586	1,616	2,202
	カ	---	---	---	---	---	1,691	---	---	---	570	2,261	1,125	-	80	1,205	1,055	2,261
	レシーフ近郊	---	---	---	---	---	1,674	---	---	---	182	1,856	435	94	30	559	1,297	1,856
	クビチエノク	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	795	34	104	933	---	---
イツベ	---	---	---	---	---	3,807	---	---	---	458	2,979	723	7	32	762	2,217	2,979	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	917	4,724	249	-	249	4,175	4,724	

国名	移住地名	資産部の										負債部の				純財産計
		固定資産					流動・流通資産					借入金 残高	土地 代残高	未払 経費 期末 残高	合 計	
		土地 施設	建物 設備	機械 器具	動物 植物	小計	現金 預金	債権 金等	その他 小計	合 計						
											流動・流通資産 計					
ブラジル	ロマント・ノニオ	---	---	---	---	2,775	---	---	---	126	---	---	380	2,821	3,201	
ブラジル	グアタバラ	---	---	---	---	2,188	---	---	---	391	---	---	503	2,078	2,580	
ブラジル	バルゼア・アトレ	1,605	1,580	692	696	4,817	142	---	597	738	---	---	2,743	2,812	5,555	
ブラジル	ナウリニョス	818	2,017	1,837	1,823	6,974	---	---	---	637	---	---	1,923	5,689	7,612	
ブラジル	ピニヤカレイ	921	1,249	1,380	451	12,240	---	---	---	470	---	---	2,088	10,622	12,710	
ブラジル	ジヤカレイ	1,153	627	927	30	5,048	---	---	---	588	---	---	1,128	4,507	5,636	
ブラジル	目ヤカレイ	944	1,395	1,639	806	5,702	---	---	---	819	---	---	2,430	4,091	6,521	
ブラジル	目ヤカレイ	1,499	932	1,145	258	12,885	---	---	---	781	---	---	763	12,883	13,646	
ブラジル	目ヤカレイ	---	---	---	---	1,049	---	---	---	720	---	---	4,236	533	4,769	
ブラジル	トルト・バラナ	1,922	544	807	152	4,390	---	---	---	936	---	---	2,215	3,111	5,326	
ブラジル	アラ	1,820	448	897	105	3,961	---	---	---	---	---	---	1,030	121	1,164	
ブラジル	アラ	1,191	331	480	150	3,228	---	---	---	757	---	---	627	3,358	3,985	
ブラジル	イグアス	2,136	519	617	511	3,910	---	---	---	324	---	---	700	1,056	2,475	
ブラジル	アマゾン	1,274	591	387	255	5,473	---	---	---	523	---	---	954	32	20	
ブラジル	ガルツベ	1,214	499	1,293	126	4,727	258	70	229	358	52,85	---	1,258	626	3	
ブラジル	アンドン	3,265	428	441	57	6,931	92	468	45	604	7,535	---	1,617	2844	68	
ブラジル	サンアラ	609	411	476	287	2,088	234	71	64	370	2,458	---	457	7	9	
ブラジル	沖繩第1	1,316	317	209	508	2,639	---	---	---	227	2,866	---	165	---	1	
ブラジル	沖繩第2	1,378	270	129	557	2,363	---	---	---	186	2,549	---	220	14	1	
ブラジル	沖繩第3	735	315	268	478	1,823	---	---	---	324	2,147	---	238	---	---	
ブラジル	ダハボ	1,745	303	924	9	2,982	---	---	---	450	3,432	---	841	28	167	
ブラジル	コンスタ	746	644	657	---	2,047	---	---	---	385	2,432	---	1,668	---	101	
ブラジル	コンスタ	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	

2 年次別農業所得の推移状況

(単位:千円)

国名	移住地名	昭和41年	42年	43年	44年	45年	46年
フ	トメ・アスー	※ 402	1,761	585	1,780	1,781	1,260
	第2トメアスー	※ 2	316	825	341	784	545
	モンテ・アレグレ	※ 174	393	858	661	1,122	865
	アカラ	※ 181	1,254	1,340	1,879	2,541	1,257
	マカバ近郊	—	695	—	598	1,028	1,046
	エフゼニオ・サレス	※ 332	741	583	1,065	1,331	2,168
	トレゼ・デ・セテンプロ	※ 377	2,204	1,779	2,821	2,777	2,873
	グア	※ 331	1,381	996	131	2,013	1,755
	マラニオン州	—	—	—	2,301	2,088	1,293
	ベレーン近郊	※ 602	—	1,083	558	1,303	820
	ピウ	736	772	521	587	350	380
	ピオ12世	400	623	695	372	596	872
	リオ・ボニート	149	357	226	635	867	1,138
	カ—ボ	764	466	1,017	829	200	139
	シ	レンーフェ近郊	348	1,266	1,397	1,730	1,702
クビチエノク		600	777	586	599	886	539
イツベラ		525	524	456	1,400	2,419	1,118
ウナ		256	443	598	698	442	326
ロマント・ジュニオール		—	—	—	—	271	533
グアタバラ		191	347	682	635	501	966
バルゼア・アレグレ		737	287	—	850	1,776	1,398
オウリーニヨス		488	△ 95	397	937	2,965	261
ビニヤール		△ 25	568	428	713	340	782
ジャカレイ		561	463	1,122	1,479	2,702	841
日光		—	406	868	1,197	4,975	2,394
フンシャー		586	309	※ 616	424	1,061	680
ラ—モス		—	334	558	1,176	1,800	* —
イボチ		—	—	—	—	137	* —
イタチ		—	858	1,627	587	674	* —
バジエ	—	—	2,263	1,298	1,511	* —	
バ	アルト・パラナ	212	418	506	355	672	728
	アラム	—	455	309	406	458	708
	チャベス	—	503	383	473	748	570
	グアス	464	369	269	370	385	480
	アマンバイ	—	887	※ 280	444	130	632
アルゼンチン	アスンシオン近郊	—	—	—	1,418	1,566	—
	ガルアッペー	409	493	1,002	634	763	386
	アソデス	245	380	304	294	1,043	244
ポリビア	サンフアン	453	368	465	548	552	795
	沖繩第1	—	—	464	303	446	461
	沖繩第2	—	—	464	478	348	523
ドミニカ	沖繩第3	—	—	472	689	415	255
	ダハボン	—	833	1,097	1,241	680	719
	コンスタンサ	—	929	530	189	318	538
ハラバコア	—	1,402	851	764	1,057	—	

注 ※この年現金農業所得のみを調査したため同所得額を訂正。

\*ボルトアレグレ支部管内は、調査対象期間変更に伴い、46年度は調査せず。

3 主たる農畜産物（農業現金粗収入）

国	移住地	第 1		第 2		第 3		農業現金粗収入計
			%		%		%	
ブラジル	トメ・アスー	コシウ	97	鶏卵	3	鶏糞	0	3,796
	第2トメアスー	〃	99	米	0	コシウ苗	0	2,254
	モンテ・アレグレ	〃	56	トマト	28	牛	6	1,428
	アカラ	〃	99	鶏卵	1	バラ栗	0	3,997
	マカパ近郊	鶏卵	50	トマト	17	廃鶏	5	5,030
	エフゼニオ・サーレス	〃	48	コシウ	19	鶏	13	5,237
	トレゼ・デ・セテンプロ	〃	53	豚	9	コシウ	3	7,684
	ベラピスタ	〃	72	鶏肉	6	〃	5	4,723
	マラニオン州	トマト	51	鶏卵	33	スイカ	2	3,734
	タイアーノ	野菜	98	コシウ	2			2,906
	キナリー	米	35	キャベツ	18	柑橘	8	1,829
	グアマ	コシウ	86	〃	9	米	2	3,084
	ベレーン近郊	野菜	33	コシウ	30	鶏卵	20	2,774
	ビウ	バナナ	33	スイカ	32	トマト	12	794
	ビナ12世	筋卵	83	ノロン	8	廃鶏	5	3,096
	リオ・ボニート	スイカ	23	ニンジン	19	柑橘	4	3,131
	カポー	キュウリ	29	メロン	29	パイヤ	2	614
	レシーフェ近郊	鶏卵	31	トマト	30	スイカ	12	4,977
	クビチュンク	トマト	30	単人瓜	11	鶏卵	9	1,669
	イツベラ	〃	46	丁字	21	コシウ	13	1,634
ウナ	ゴム	55	スイカ	8	トマト	7	812	
ロマン・ノニール	メロン	32	トマト	17	バナナ	3	1,133	
グアタバラ	鶏	81	マニ	6	米	5	3,667	
バルゼア・アレグレ	〃	88	廃鶏	5	柑橘	3	7,999	
オウリーニヨス	卵	46	柑橘	20	コーヒー	7	3,239	
ビニヤール	トマト	47	ブドウ	35	卵	3	2,052	
ンヤカレイ	鶏卵	38	鶏肉	34	菊豆	8	6,439	
日光	コーヒー	79	蚕	5	豆	4	4,118	
フンシャー	鶏卵	58	ゴヤバ	16	廃鶏	5	3,814	
パラグアイ	アルト・パラナ	大豆	49	油桐	21	マリス	6	1,292
	アラナム	〃	54	〃	13	米	3	1,409
	チガベス	〃	32	〃	28	野菜	17	1,151
	イグアス	鶏卵	40	トマト	31	大豆	7	1,546
アマンバイ	〃	50	コーヒー	16	大野	15	1,597	
アンチゼン	ガルアッベ							690
	アンデス							1,005
ボリビア	サンフアン	米	44	鶏卵	31	鶏肉	7	1,462
	沖繩第1	豚	27	牛	23	綿	11	624
	沖繩第2	牛	36	鶏	14	米	14	518
沖繩第3	キビ	26	牛	21	鶏	17	368	
ドミニカ	ダハボン	水稲	91	トマト	2	豚	0	2,695
	コンスタンサ	野菜	64	〃	11			3,058



4 主たる農業経営費

国	移住地	第 1		第 2		第 3		農業経営費計
			%		%		%	
プ	トメ・アスー	雇用労賃	38	肥料代	22	減価償却費	20	2,382
	第2トメアスー	"	38	"	27	"	17	1,552
	モンテ・アレグレ	"	45	減価償却費	23	肥料代	9	1,054
	アカラ	"	36	肥料代	28	減価償却費	19	2,327
	マカバ近郊	飼料代	42	燃料代	16	雇用労賃	14	3,991
	エフゼニオ・サーレス	"	52	雇用労賃	15	減価償却費	10	3,229
	トレゼ・デ・セテンプロ	"	39	種苗種畜費	17	雇用労賃	14	5,123
	ベラピスタ	"	59	雇用労賃	12	減価償却費	8	3,124
	マラニオン州	"	37	"	19	肥料代	13	2,514
	タイアーノ	飼料代	35	減価償却費	23	雇用労賃	17	967
ラ	キナリー	燃料代	41	"	20	修理費	19	903
	グア	肥料代	36	雇用労賃	28	減価償却費	16	1,757
	ベレーン近郊	雇用労賃	28	肥料代	22	飼料代	21	2,033
	ビウ	"	40	"	20	販売経費	13	441
	ピオ12世	飼料代	69	種苗種畜費	9	"	6	2,308
	リオ・ボニート	雇用労賃	25	肥料代	23	"	18	2,121
	カ	"	22	減価償却費	16	肥料代	13	555
	レノーフ・近郊	飼料代	45	雇用労賃	12	販売経費	9	3,494
	クピチエノク	雇用労賃	23	肥料代	20	飼料代	14	1,165
	イソベラ	"	33	"	17	減価償却費	12	999
ル	ウ	"	47	"	21	"	11	573
	ロマン・ジュニナル	肥料代	35	販売経費	26	農業代	11	1,226
	グアタパラ	飼料代	57	種苗種畜費	5	肥料代	4	2,854
	バルゼア・アレグレ	"	63	販売経費	11	種苗種畜費	8	6,589
	オウリーニヨス	販売経費	90	飼料代	41	肥料代	10	2,877
	ビニヤール	"	34	雇用労賃	16	減価償却費	12	1,261
	ジャカレイ	飼料代	52	販売経費	12	種苗種畜費	11	5,580
	日	雇用労賃	45	減価償却費	18	肥料代	10	1,649
	フンシャー	飼料代	58	販売経費	10	減価償却費	7	3,213
	アラグアイ	アルト・バラナム	雇用労賃	53	減価償却費	20	販売経費	14
フ		"	48	"	21	"	11	787
チャベス		"	49	"	18	"	9	610
イグアス		"	29	飼料代	18	"	17	1,228
アマンバイ		飼料代	35	雇用労賃	25	減価償却費	12	1,143
アンチゼン	ガルアッペ							429
	アンデス	補助材料費	25	雇用労賃	20	減価償却費	19	850
	サンフアン	雇用労賃	24	飼料代	22	減価償却費	10	834
ポリビア	沖繩第1	"	41	"	22	"	18	426
	沖繩第2	"	42	種苗種畜費	31	飼料代	5	405
	沖繩第3	"	36	減価償却費	34	"	9	394
ドニミカ	ダハボン	"	51	肥料代	16	減価償却費	8	2,039
	コンスタンサ	"	28	"	16	農業代	11	2,562

昭和46年度移住地農家經濟調查報告

付 属 說 明 資 料

昭和48年度 / 2月

海 外 事 業 部 農 牧 課

## 1. 階層分類について

昭和46年度より実施した階層分類法は、各入植地における階層分化の実態を把握し、かつ、低位農家に対しては不振の要因を探求し、これを振興することを目的とし、昭和37年度に農林省が内地開拓農に対して行なつた実態調査方法をモデルとして作成したものである。

### (1) 調査方法－調査分類法は、次のように行なつた。

#### a. 目標所得額の設定

当該移住地または近傍の中庸程度の専業農家とほぼ同一の生活水準を維持しうる額を、目標所得額として設定する。具体的には次の式にて求める。

$$Y = L \times n \times i + S + R$$

L：当該移住地の昭和46年度移住地農家経済調査のうち、世帯員数4～7人の専業農家の住居費を除いた、1人当り平均家族家計費。

n：当該移住地の1戸当り世帯員数。

i：家族家計費修正係数。

S：既往債務残高の約定償還金額。

R：公租公課。

なお、この家計費が目標生活水準とするには不適當であると考えられる場合は、期待される生活水準に修正してよいことになつている。

### (2) 標準農家の設定

営農類型別に(1)で述べた目標所得額の水準に達している農家(5戸程度)を選定し、これら農家の昭和46年度における経営状況を、技術的な面および経済的な面から検討した結果をもとに、当該地区における営農類型別の標準農家(安定農家)の姿を設定する。つまり、目標所得額を達成するには、どれだけの資本装備が必要であるかを設定する訳である。

(3) 標準農家と個別農家との比較

(2)において設定された標準農家の資本装備額および目標所得額と、個別農家のそれとを比較し、「評価基準」に基づき階層分類を行なう。

(P5「利用者のために」「農家の階層分類要領」の項参照。)

(補足説明)

① P5の階層分類の評価基準表でもみられる通り、Ⅲ類農家の定義幅が広いため、Ⅲ類が多く占める傾向がある。

しかし、この分類上の位置づけはあくまでも一つの指導目標を設定した場合の相対的なものであり、絶対的な水準を示すものではない。しかも、基準となる指導目標は各入植地のみのもので、他の入植地との関連性はなく、従つて、階層分化の状況をもつて入植地を比較することができないことは、言うまでもない。

なお、Ⅲ類農家の定義に関しては、今後、さらに検討する予定である。

② 沖縄移住地において、Ⅲ類農家が高率を占めているのは、家計費の値を(1)で述べた公式にて求めた値より高水準に設定したことによる。

2. 未処分農産物増減について

農業粗収入の非現金部門である「未処分農産物増減額」は、調査対象期間末に保存した農産物の予定売価から、前年度末の未処分農産物予定売価を差し引いた額を計上している。

これは、本年度現金収入の中に、前年度繰越の未処分農産物の販売額が含まれているため、本年度の未処分農産物額を全額計上しては、未処分農産物の二重計上となり、単年度の農業生産活動の実績把握とならないからである。

よつて、「未処分農産物増減額」をもつて、二重計上を避ける手続きとしている。

また、これに伴い、トメアスー移住地の例にみられるごとく、未処分農産物増減額がマイナスになることもあり、現金農業粗収入額が、農業粗収入額（現金農業粗収入＋非現金農業粗収入）を上回ることもある。

3. 農業粗収入非現金部門について

本調査の農業粗収入非現金部門に計上されるものには、未処分農産物増減額、動植物増減額、家計仕向額、未収販売代金期末残額、雇用労賃現物支給見積額がある。

よつて、本調査項目中、「その他」として記載されているものは、上記項目中4項目の合計額である。

4. ポルト・アレグレ支部管内入植地は、調査対象期間変更に伴い、46年度は調査せず。

以 上

